

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨の大地とくらし		第3章 P.46, 47	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	4年生

1. 教材のねらいと概要

土地の特徴と人々のくらしとの関連について考えると共に、地域の開発や土地の特徴を生かした特産物の生産などを通して、地域の発展のために工夫したり苦勞したりしてきた人々について知る。それぞれの地域での先人の働きについて考えられるよう、P.46では県内各地の堰や水路を掲載している。また、山梨の土地とくらしについて現代の視点で捉えられるよう、P.47では県内各地の産業や観光を掲載している。

2. 活用例





①

教科名等	社会科(4年)	単元(題材)名等	人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働き
活用場面		活用のポイント	
			時間
地域の発展に尽くした先人の働きについて学習する。		「ふるさと山梨」から、先人の働きの例として堰や水路があることを知る。市町村の副読本で、地域の発展に尽くした先人の例を調べる。先人の働きやその業績について資料館を利用したり、インタビューをしたりして調べる。	20～50分 (家庭学習を含む)

②

教科名等	社会科(4年)	単元(題材)名等	県の地形や産業の概要とそこに見られる人々の生活の様子
活用場面		活用のポイント	
			時間
県の地形や産業の様子などについて学習する。		掲載されている記事を基に山梨県の主な産業について知る。地図帳で山梨の産業の様子に土地利用図などを基に調べ、わかったことをノートにまとめる。	20分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.46 	昔の人々がどんなくらしの工夫をしていたのか調べてみたいな!	身近な地域の先人の働きに関心を持たせる。	学校の近くのため池は、昔、地域の人たちが手作業で整備したそうだ。くわしく調べてみよう。
P.46 	堰ができて、人々のくらしはどのように変化したのかな?	先人の働きによって、人々のくらしがどのように向上したのかを考えさせるようにする。	堰が通ったことで米づくりができるようになった。また、水不足が解消され、村同士の争いがなくなった。 (副読本や郷土資料館等の活用)
P.47 	地域の特産物と土地にはどのような関わりがあるのでしょうか?	土地の特徴と人々のくらしの工夫との関係を考えさせるようにする。	私たちの地域では、栄養分豊富な土ときれいな水を生かした米づくりが行われている。
P.47 	○機械がない時代、人々はどのようにして水路を掘ったのでしょうか? ○身近な地域や郷土資料館などで、昔の人々のくらしの工夫をさがしてみよう!	土地の特徴と人々のくらしについてのまとめ・振り返りを行えるようにする。まら、学習したことをさらに広げたり深めたりできるようにする。	機械がない、または普及していない時代に地域の人々が力を合わせて土地の開発に当たったことに気付かせたい。調べる手段として、地域の施設を利用するなどの意識を持たせたい。

4. 写真・資料の補説

(1) 世界かんがい施設遺産に登録されている村山六ヶ村堰(北杜市)

・六ヶ村堰はおよそ1,000年ほど前に開削され、以降拡張や改修を繰り返し現在にいたっている。
・農業振興、文化的価値、豊かな生態系など水路の様々な価値が認められ、平成18年に全国疏水百選に認定された。また、平成28年には国際かんがい排水委員会(ICID)から世界かんがい施設遺産に登録された。

(2) 山梨の主な堰(水路)

・掲載されているせぎや水路をきっかけとして、身近な地域の開発に目を向けさせるようにしたい。

(3) 県内各地の産業

農業：武川米(北杜市)、もも(山梨市)、クレスン(道志村) 観光：富士山(富士吉田市)
それぞれの写真をきっかけにして、身近な地域の産業について関心を持たせるようにしたい。

(4) 果樹生産(くだものづくり)を支える「扇状地」

農業：武川米(北杜市)、もも(山梨市)、クレスン(道志村)
観光：富士山(富士吉田市)
それぞれの写真をきっかけにして、身近な地域の産業について関心を持たせるようにしたい。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・编者	発行年
村山の郷-自然と地勢・歴史-	村山六ヶ村堰土地改良区	村山六ヶ村堰土地改良区	2015(H27)年
山梨県史 通史3 近世1	山梨日日新聞社	山梨県	2006(H18)年
甲斐の道づくり・富士川の治水	関東建設弘済会	建設省関東地方建設局甲府工事事務所	1990(H2)年
関連施設名	住所	電話	
村山六ヶ村堰(水力発電所)	北杜市高根町長沢上手原4986番地1302外		
富士山世界遺産センター	南都留郡富士河口湖町船津6663-1	0555-72-0259	
参考ホームページ			
国際かんがい排水委員会			